

大会名 Competition	第65回秋田県高等学校総合体育大会 バスケットボール競技
NO. M-3	Year Month Day Time 2019 年 6 月 4 日 12 : 00
場所 Place	横手市増田体育館



秋田県高等学校体育連盟  
バスケットボール専門部

チームA		チームB															
湯沢翔北		大曲															
103	<table border="1"> <tr><td>25</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>26</td><td>2nd</td><td>13</td></tr> <tr><td>20</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>32</td><td>4th</td><td>24</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	25	1st	14	26	2nd	13	20	3rd	15	32	4th	24	OT			66
25	1st	14															
26	2nd	13															
20	3rd	15															
32	4th	24															
OT																	
○		●															

Crew Chief  
久米 克弥  
Umpire 1  
佐々木一也  
Umpire 2  
山田 知慧  
テーブル・オフィシャル: Table officials  
湯沢高校女子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	齊藤	可 怜 CAP	6	0	3	0	3	4	×	戸村	ほのか CAP	17	3	4	0	4
5	×	近藤	萌	36	1	16	1	1	5	×	坂本	麻 陽	5	1	1	0	1
6	×	小野寺	紅 美	6	2	0	0	2	6	/	田口	桃 瑚	2	0	1	0	0
7	×	浅利	千	22	6	2	0	3	7	/	橋田	碧	0	0	0	0	0
8	×	長谷川	美 加	6	0	3	0	1	8	×	伊藤	瑠 南	10	0	4	2	3
9	/	清川	璃 子	6	0	2	2	1	9	/	小田嶋	美 希	3	1	0	0	0
10	/	佐渡	ほのか	2	0	1	0	1	10	/	伊藤	夕 真	0	0	0	0	0
11	/	奥山	理梨佳	8	2	1	0	1	11	×	草薨	紗 良	12	0	6	0	2
12	/	藤原	菜 花	2	0	1	0	0	12	進	藤 凜	-	-	-	-	-	
13	/	高橋	優 南	1	0	0	1	0	13	×	伊藤	萌	10	2	2	0	3
14	/	加藤	望 希	2	0	1	0	0	14	鈴	木 花 弥	-	-	-	-	-	
15	/	石川	真 子	6	0	2	2	0	15	/	高橋	憩	2	0	1	0	1
16	/	新林	未 悠	0	0	0	0	0	16	/	加藤	花 蓮	1	0	0	1	1
17	/	畑中	悠 奈	0	0	0	0	0	17	/	菊地	姫 菜	4	0	2	0	1
18		奥山	せり	-	-	-	-	-	18		富 樫 麗 未	-	-	-	-	-	
19		飛澤	彩 乃	-	-	-	-	-	19		小 松 爽	-	-	-	-	-	
20		菅 萌 惟	-	-	-	-	-	-	20		田 口 凜 步	-	-	-	-	-	
21		齋藤	花 純	-	-	-	-	-	21		橋 本 未 均	-	-	-	-	-	
コーチ		樋渡	真 裕						コーチ		戸 村 均						
Aコーチ		熊 谷 傳 裕							Aコーチ		佐 藤 均						
合 計				103	11	32	6	13	合 計				66	7	21	3	16

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P\* インドシュート 2P:2P\* インドシュート FT:フリースロー F:ファウル

女子決勝は、9連覇を目指す湯沢翔北とシード校を次々と破り勢いに乗る大曲という昨年と同一カードとなった。  
第1クォーターは、翔北はマンツーマン、大曲はオールコートでの2-2-1ゾーンからの3-2ゾーンでスタートした。翔北が#5近藤の3Pで先制する。その後、互いに厳しいディフェンスで得点が伸びない。翔北が#5近藤のインサイド、#7浅利の3Pで立て続けに得点し、10-6となったところで大曲がたまたまタイムアウトを取った。その後、翔北は#8長谷川、#5近藤のインサイドプレーで得点を重ねる。大曲は#8伊藤(瑠)のインサイド、#13伊藤(萌)の3Pなどで食い下がる。翔北は高さを生かしたオフェンスで得点を重ね、25-14と翔北リードで第1クォーターを終えた。  
第2クォーターは、開始早々大曲#5坂本の3P、#8伊藤(瑠)のジャンプシュートで25-19と翔北に迫る。翔北は、#5近藤を中心に#7浅利、#4齊藤の得点で相手に的を絞らせないオフェンスで得点を重ねていく。大曲は、翔北の激しいディフェンスに苦しみ、なかなか得点を奪えない。#4戸村のドライブや#5坂本のドライブで活路を見出そうとするが、翔北の厳しいディフェンスに阻まれる。翔北はリズムの良いオフェンスで得点を重ね、前半を51-27で前半を終える。  
第3クォーターは、約2分間両チーム得点が入らない重い立ち上がりとなった。翔北は前半同様#5近藤、#7浅利を中心にアウトサイド、インサイドで得点を重ねる。大曲も、オールコートのゾーンプレスからリズムを作り、#13伊藤(萌)の速攻、#4戸村の3P、#11草薨のインサイドプレーで得点を重ねる。両者の激しいディフェンスにより、第3クォーターを71-42の翔北リードで終える。  
第4クォーターは、翔北がマンツーマン、大曲がオールコートのゾーンで互いに激しいディフェンスを繰り返す。翔北が大曲のミスを見逃さず、開始5分間でさらに10点のリードを広げる。その後、大曲がオールコートのディフェンスから#4戸村や#13伊藤(萌)の3Pで1-10のランを見せる。残り3分、翔北は#15石川のバスケットカウントや速攻など、最後まで厳しいディフェンスとオフェンスの手を緩めず、食い下がる大曲を103-66で振り切った。試合を通して互いに激しいディフェンスを行ったが、高さやリズムのいいオフェンスで上回った湯沢翔北が9年連続優勝とインターハイの出場権を手にした。

文責 【 佐藤好貴(横手清陵) 】